

新松田駅周辺地域まちづくり協議会（第1回） 議事録

日時：平成27年12月9日（水）

15：00～17：00

開催場所：松田町役場 4階 4AB会議室

1. 開会

2. 町長あいさつ

皆様こんにちは。本日はお忙しい中、皆様にお集まりいただきありがとうございます。関係各位におかれましては、町にご理解をいただき御礼申し上げるとともに、協議会の開会が遅れたことをお詫び申し上げます。

当町においては、豊かな自然や歴史、富士山、箱根をはじめ、周辺地域との交流ができる場所で、交通についても、JR松田駅や小田急新松田駅に加え、東名高速道路や開通予定の新東名高速道路など、大変豊かな交通状況です。

それらのことから、当町は県の北部の玄関口として重要な場所を担っていると考えています。今回ご審議いただく駅周辺のことについては、町民の方々から常日頃からご意見をいただいています。

これから20年先の未来を検討する審議会であり、今回がその1回目です。この審議会の内容を逐一町民の方々へお知らせし、町民の方々のご意見をいただきながら進めていきたい。

皆様のご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

3. 委嘱状交付

4. 委員紹介

5. 会長・副会長の選任

会長に杉本洋文委員、副会長に鍵和田功委員が選任された。

6. 議事 新松田駅周辺地域まちづくり協議会について

（1）新松田駅に係る現況および主要課題について

事務局より、資料の説明が行われた。その上で、質疑応答が行われた。

主な内容は下記の通り。

【会長】

今回検討することは、どの領域を対象としているのか。

【事務局】

今回の協議会の中では、駅周辺のまちづくりということで、駅前広場だけでないエリアについて対象としたいと考えている。そのエリアについては、次回までに説明する。今後設置する部会で議論した上で、協議会にあげていきたい。

【会長】

松田駅の特徴として、駅前に病院があることが挙げられる。前回の計画では病院がエリアから外れていたが、病院へとつながる道に関する検討もすべきではないか。病院は、まちづくりにおける核となりうるので、病院を対象範囲にぜひ入れてほしい。

【事務局】

県立病院へと集まる方々は多くいらっしゃるだろうから、利便性の向上がまちの発展につながると考えている。

【委員】

平成 20 年度の計画を検証して計画を立てていくのか、それとも新たに計画を立てるのか。

【事務局】

平成 20 年度の計画においては、駅を中心としたまちづくりまで踏み込めなかった。そこで、この協議会で皆様からのご意見をいただきながら、駅を整備するだけではない、中心市街地の活性化を目指していきたい。その流れにおいて、平成 20 年度の計画も一つの検討事項とはなりうる。

(2) 協議会の目的及び運営方法及び部会の設置等について

事務局より、資料の説明が行われた。その上で、質疑応答が行われた。

主な内容は下記の通り。

【委員】

このまちづくりの最終目的として、都市開発事業であるのか、それとも小規模な再開発事業なのか。

【事務局】

今の新松田駅や駅前広場の利用は面積的に厳しいものがあるから、場合によっては周辺の商業施設などを移転させることも考えられる。その意味で、再開発という手法もある。他にも、民間活力の誘導や道路整備、街路整備など様々な手法がある。その検討結果によっては目的や進め方も変わってくるから、目指すものを部会等で検討し、協議会にフィードバックさせていきたい。

【委員】

道路整備だけとはいかないのではないかと。できれば建物を集約してスペースを広く取れるようにできれば一番良いと思う。

【委員】

委員に JR が加わっていないことについて、どのように考えているのか。

【事務局】

JR 東海静岡支社へは再三にわたり参画を依頼したが、駅を中心としたまちづくりは様々な自治体でも取り組んでいるから、もう少し具体的な個別案件レベルになったら協力したいとの回答であった。

【委員】

JR 東海と小田急が一体となってやらなければならないのではないかと。

【事務局】

JR 東海は、松田町も含めた御殿場線沿線の近隣市町村との協議会へ参画していただいている。松田町も、JR 東海とのチャンネルをもっているから、その中において協議をさせていただく。

【委員】

松田町の駅前には、50 年経っても変わっていない。近隣の開成町では立派なものがあった。この駅周辺のまちづくりは町民が一番望んでいるものであり、この協議会ができたこと自体は素晴らしいと思うが、JR と小田急が一体とならなければまちづくりはできない。

【事務局】

協議会への参画について、再度依頼したいと考えている。

(3) 今後のスケジュール、について

事務局より、資料の説明が行われた。その上で、質疑応答が行われた。
主な内容は下記の通り。

【会長】

スケジュールについて意見がないようであれば、全体について意見はあるか。

【事務局】

町民の皆様へ、基本方針、基本構想は 1 年ごとに進捗状況をお知らせしたいと考えている。簡単なイメージ図を作成しながら、伝えていきたい。

【事務局】

参考資料 3 の最終頁の道路計画図について、全ての用地について買収が終わっているわけではないということをご説明させていただく。今後、用地買収を実施していく予定である。

【会長】

せっかくお集まりいただいているので、お一人ずつ、ごあいさつ含めご意見をいただきたい。

【委員】

このようなメンバーが集まり、協議会が発足したことが喜ばしい。JR を参画させて、御殿場線と小田急が連結することが一番大事である。ぜひ委員に加えてほしい。

【委員】

駅周辺は、松田町の玄関口であるだけでなく、県西地域の玄関口でもあると思う。新松田駅は、小田原や新宿からのアクセスもよく便利な場所であり、まさにターミナルであり、足柄上地域の拠点である。隣接県との関係も視野に入れて、玄関口としての役割を果たせるように整備してほしい。

【委員】

うちの部に、まちづくり建築指導課がある。新松田周辺地区の将来には関心があるから、できるだけ協力させていただきたい。ロマンス通りの美しい景色や、至る所にある歴史的な資源を守っていきつつ、新しいまちづくりとして整備して行ってほしいと個人的に思っている。

【委員】

よりよいまちづくりを考えるにあたり、道路整備や地域の整備、都市計画が一体となって進めてほしい。現在、不良少年のたまり場となっている問題もあるが、地域の方々が安心して利用できるような環境整備が重要である。

【委員】

ようやく町としての動きがみえてきた。このような協議会が設置されたのだから、今回こそは計画が途中で頓挫しないようにしていただきたい。

【委員】

駅前整備とあわせて、狭小道路などの整備も進めていただきたい。

【委員】

商工会青年部の時代に再開発に関するワークショップを行い進めてきたが、バブルの崩壊により頓挫してしまい残念だった。今回は、頓挫しないようにしていただきたい。

【委員】

この事業の主役の一人である JR がいないことは問題である。松田町内には片側通行の道路があるなど、交通の問題を抱えている。交通はまちづくりにとっては重要であるから、迅速な行動をとって

いただきたい。

【委員】

この計画は11年ではなく、8年くらいでできればと思う。前回の計画は途中で頓挫してしまったので、今度こそは、と思っている。

【委員】

1991年の計画は、金銭的な観点から現状にはあっていない。地区計画エリアを考えていく中で、身の丈に合った必要なものを検討したい。中でも、活性化している賑わいのあるまちを、協働によってつくっていききたい。

【委員】

過去にも調査研究、計画がつくられたが実現していない状況の中で、皆様の貴重なご意見をいただきながら、多くの町民が利活用しやすいまちづくりを進めていきたい。

【委員】

山口委員、佐藤委員と私は3人とも参事であり、私たちが町の業務を分担している状況である。役場として一大プロジェクトとして進めていきたいと考えている。

【委員】

主に北口で仕事しているが、バスとタクシーが錯綜しており、自家用車の数も多い。私たちの使命は安全運行であるから、広い安全な駅前広場にしていきたい。タクシーの発着点は、現在北口だが、南口広場も活用していければと思っている。

【委員】

資料を熟読して、新たなまちづくりができるよう努力していきたい。タクシー事業は、公共交通としての位置づけがまだ弱いと認識している。地域公共としての役割を果たしていきたい。

【委員】

駅前には、安全第一の開発を進めていければと思う。私は、松田町に35年以上住んでいる。その意味で、協議会に参加させていただけるのは嬉しい。町民からご意見をいただけるように進めていったらよいのではないかと。

【委員】

駅前広場は、なかなか広くならない。番線に留まっているバスの前を歩行者が歩いている状況がある。安全で広い駅前となるよう期待している。

【委員】

まちの発展と鉄道の発展は表裏一体である。今できることもあるだろうから、早めにこの計画の大まかな方向性がみえてくればよいのではないかと。

【町長】

本日は、大変にありがとうございました。この協議会をようやく設置することができたから、しっかりとやり遂げていきたい。

JR東海の参画については、しかるべき時に参画してもらえるようにしていきたい。

行政だけではなく、皆様と一緒にやっていきたい。この協議会は、資料をみた皆様から意見をいただいて、私たちが検討をするというサイクルにしていけないといけないと考えている。積極的に情報公開をしながら進めていきたいと思っているので、今後ともよろしく願います。

【副会長】

まず、問題点の原因の究明が必要ではないかと。どのあたりまでのエリアを駅前広場として整備する

のか、という範囲を明確にしていくべきではないか。地権者との関わりもしっかりとやっていくべきではないか。

【会長】

駅は、鉄道に限らない。高速道路のインターチェンジも近いことから、松田は繋ぐというコンセプトのまちになるだろうから、繋ぐことが大切であると思う。

いくつかのシミュレーションはやっていくべきだと思う。様々な方法の選択肢の中において、実現の可能性やどの程度の時間がかかるのかといった様々な観点で、シミュレーションをしながら検討を進めていきたい。この協議会では、様々な可能性を検討する場でありたい。

(4) その他

【事務局】

次回の協議会は平成 28 年 5 月を予定している。それまでに、部会の立ち上げをしたいと考えている。